



改正NPO法、新奇附税制により、NPOの活動を強く支援する仕組みが整った。区内での区民の公益的な活動の推進・充実のためいわゆる「3号指定条例」と言われる認定NPO法人が優遇措置を受けるための区独自の条例を制定しては

区長 今までは該当法人がなく、条例整備を行わなかった。今後は他区の動向も見ながら検討したい。給食の放射能を測定せよ

食材への不安の高まりを受けて、多くの自治体が独自測定を行っている。実際に提供された給食を1週間ごとにまとめて測定する横須賀市の方式を参考に、食材測定を検討しては

教育長 国や都の動向を見守っていききたい。

ポリオワクチン接種控えへの対応を

不活化ワクチン導入の議論があり、生ワクチンを敬遠する区民も見られる。ワクチンを打たないことよ

国の制度改正に合わせた新しい形のNPO支援を

中野区議会民主議員団 森 たかゆき



地域スポーツクラブについて問う

自由民主党議員団 内川 和久



るリスクも広報し、独自の助成制度導入も検討しては

区長 免疫を持たない人の増加により国内での流行も懸念される。区としても情報提供を行い、接種機会の確保に努めたい。不活化ワクチンは未承認のため、助成対象とは考えていない。

外部評価の指摘を反映せよ

リライフ南台は区が所有するべき理由がない。外部評価の指摘を踏まえて見直しを行うべきでは

区長 近年は利用率が低迷しており、施設のあり方について検討している。

①任意団体の活動状況や委託業者の選定など、現在の進捗状況は。②正式なオープンはいつか。③会費、会員数の想定は。④収益事業について区の考えは

区長 ①理事会・評議員会で運営のあり方を定め、検討状況を区から説明した。委託業者の選定は、条件設定などについて案を検討している。②よりよい事業を構築し、できるだけ早く開設したい。③初年度は150名、5年間で500名程度が目標である。会費は、事業経費を算出した上で設定したい。④施設の利用料

各種の有料講座・教室などの参加費を考えている。

中野駅南口地区の整備を進めよ

①中野三丁目駅直近地区の整備は、西口改札が完成予定の平成27年頃までに間に合うのか。暫定整備であればどのようなものになるのか。②中野二丁目再開発の準備組合設立から6年ほど経過しており、地元は一日も早い事業化を望んでいる。現在の進捗状況は

区長 ①計画では平成30年度以降の完了を想定している。西口改札完成の段

階では、駅前広場の整備と広場への南北自由通路の接続を想定している。②準備組合とともに関係機関と検討している。計画と整合を図りながら手続を進める必要があると考えている。

被災地への継続的な支援を

①職員派遣のあり方や期間について今後どうするか。②区内と現地における支援事業の今後の展望は

区長 ①来年度も現在の派遣の枠組みを維持していく。②区内では、地域の自主的な支援の輪が広がるよう継続的に支援していく。現地では、職員や区民などによるボランティア支援にも取り組んでいきたい。

中野富士見中学校跡地の施設整備を問う

自由民主党議員団 ひぐち 和正



跡地施設整備の地域説明会で、保育所整備に関する質問があったが、①特養ホームへの認証保育所の併設は検討しないのか。②保育所誘致の具体的な予定地は

区長 ①認証保育所の誘致は面積の限界もあって考えていない。②区の南側地域について、認証保育所の開設重点地域とする誘致策を現在検討中であり、検討内容を理解いただくよう説明していく。

避難所機能を充実し、地域の安全・安心を確保せよ

中野富士見中跡地の多目

的広場へのマンホールトイレの設置と野外炊事のできる釜戸の整備状況は。また、体育館プールの水をシャワー、マンホールトイレや暖房などに活用できるのか

区長 整備計画を具体的に検討していく中で内容を検討したい。

住民合意と工夫に努め 区民の期待に応えよ

跡地に整備予定の特養ホームと多目的広場などは利用時間帯・用途が異なり、地域の活性化と特養ホームでの生活の安寧の両立には工夫が必要だ。プライバシー



中野富士見中学校跡地

心の健康を支援せよ

みんなの党 後藤 英之



①中野区の平成22年の死亡者のうち、死因が自殺のものは67名にのぼる。心の病は自殺につながる問題でもあり、心の健康対策の重要性と緊急性は非常に高いと考えるがどうか。②区における心の健康に関する啓発の現状と今後の展望は

③相談業務の質の向上と、相談の受け皿の量的拡大が重要ではないか。

区長 ①「健康福祉都市なかの」の実現を目指しており、重要性を認識している。②区民の誰もが心の变化に気づくことができるよう、広く区民に対し普及啓発を行っている。それにより、地域全体の健康度が高まっていくと考える。③相談内容によって専門医による個別相談の場を活用し、必要な支援につなげている。

高齢者・障害者の見守り活動に的確な支援を

公明党議員団 南 かづこ



地域支えあい活動の推進に関する条例が23年4月に施行され、高齢者・障害者の見守りの取り組みが始まった。①見守り対象者名簿の提供にあたっては、個人情報管理・運用が適切に行われるよう、区は的確な支援をすべきでは。②今夏に実施した熱中症対策訪問調査で得た情報を見守り対象者名簿に活用し、システ

ム化することで地域包括支援センターや区民活動センターなどの関係機関が共有できるようにしてはどうか

区長 ①町会・自治会と個人情報の取り扱いに関する協定を締結し、名簿の管理者等を対象に研修機会を設けるなど、注意点や留意点の徹底を図っている。②円滑な支えあい活動のため、要支援者の情報のシス

迅速な避難所の開設を図れ

地震を感じし解錠する機械式のキーボックスが開発されている。迅速な避難所開設のために設置しては

区長 避難所の鍵の管理方法などの検討の中で研究していきたい。

たんぼぼ学級廃止後を問う

①廃止後の児童・生徒の都立特別支援学校への通学方法の協議は、区が主体となり行うべきでは。②廃止

後の施設は、重度・重複障害児等を対象とした在宅サービス施設とする方針だが、更に保護者の情報交換や交流の場を設置しては

教育長 ①保護者の意向を十分に尊重し、安全な通学方法を関係機関と十分に協議の上、必要に応じて独自の支援策を考慮していきたい。②今後、事業内容や施設整備の検討の際、設置の可能性を検討していく。

巡回相談員を増員せよ

発達障害児は早期発見・療育が進歩したこと、近

年著しい増加傾向にあり、教育現場では巡回相談員の役割の重要性が増している。①更なる充実のため増員が必要では。②的確なアドバイスや理解を深める気づきの機会をつくるためにも、臨床心理士でもある巡回相談員と保護者の、個別相談の場を設置すべきでは

教育長 ①今後展開予定の特別支援学級の運営などのため、増員を考えている。②巡回相談員の今後の役割の検討の中で、必要性について考えていきたい。